

問合わせ・見学 大歓迎！！
 <<利用状況 案内板 (☆募集中★満員)>>
 ☆ナイス・ケア
 ☆ナイス・デイ (定員 10名)

日	月	火	水	木	金	土
4	5	5	5	5	5	6

 ☆ナイス・ホーム (定員 21名、現在登録者 18名)
 ☆愛宕の家 (定員 17名中入居者 12名)
 ☆つしま紹介所 (有料職業紹介)
 ☆ナイス・キッズ (学童保育・託児)

<<5月行事予定>>
 10日 外食デイ
 15日 運営推進会議 (ナイス・ホーム)
 20日 避難訓練
 30日 誕生日会
<<不定期行事>>
 天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します。

<<教室案内>>
 ・和太鼓 月曜日(年間 35回)
 場所：愛西市川淵コミュニティ
 ・コーラス 水曜日(月 2回)
 場所：喫茶てのひら
 ※職員やキッズ達の趣味活動を兼ねて各教室を発足。地域の方々にも参加していただけます。
 各教室月謝制で、定員あり。
 詳細はお問い合わせ下さい。

新しい入居者さん／愛宕の家
 ここ最近、2名の入居者さんが増えました。
 Bさん80代。いつもニコニコしてみえ、ご自分のして欲しい事ははっきり言ってくださいます。ずっと津島に住んでみえたので、昔の街の様子も教えて下さいます。そして、書家として雅号をお持ちのBさん。「上手く書けなくなっちゃったわ」と言いつつも、筆ペンで達筆な文字を披露してくれます。最近、スタッフに勧められて日記も書き始めました。ご飯も入居当初はほんの数口しか食べられませんでした。が、すすめ上手(?)なスタッフにより、その何倍も食べられるようになりました。
 Cさんはなんと御年100歳超え。でも、本人に年齢を尋ねると、「91歳」って答えられるんですけどね(笑)。
 たいていの物はご自分の歯で食べられるし、トイレも自分で出来ます。野菜よりもお肉やお刺身が大好き。口数はあまり多くはないのですが、たまに見せてくださる笑顔は素敵です。
 入居者さん、それぞれに個性があり、生活背景があります。入居はしてみえますが、ご家族と過ごされる時間も多々あります。長いお付き合いができる様に、居心地の良い場所を提供していけるように心がけたいと思います。(K・T)



花の季節到来の中のリスク／ナイス・デイ
 桜、チューリップ、芝桜、藤、花菖蒲などなど、春の美しく咲く花を一目見ようと利用者さんと一緒に東奔西走。ところが、今年は例年になく、全ての花が早く開花。スタッフの配置、車の配車、参加利用者さんの顔ぶれなどなど、想定外の事が多くありました。
 それでも、屋外での機能訓練、意欲向上、社会参加、利用者さんたちの目標達成の関わりの一つとして、外出レクを実行させたい気持ちはスタッフ全員強く、急遽予定変更、スタッフ調整等をして実行しました。
 しかし、室内での活動より危険が潜んでいる外出レク。デイサービスの送迎車の事故が増えてきている昨今、絶対に起こしてはいけない事故。また、外出先での転倒及び、不慮の事故等も想定した上で、十分な知識と余裕をもって多様なことに配慮しながら、行動していかなくてはなりません。スタッフ配置、参加利用者さんも含め、安全に外出できるように…。そして、あらかじめ考えられるリスクと対応をご本人、ご家族と話し合っておく必要があります。
 今年も、来年も、利用者さんの笑顔と目標達成に向けて、外出レクが安全に実行できるようにしていきたいと思う今日この頃です。(M・O)



定員と緊急対応／ナイス・ホーム
 ナイス・ホームは登録定員があります。そして、通いやお泊まりにも、それぞれの1日の利用定員があります。介護保険法に定められており、基本的に守らなければいけません。ところが、“地域密着型小規模多機能型居宅介護”の機能の1つに“緊急対応”があります。訪問や通い、お泊まりで、緊急対応が出来る体制を整えておく必要があるのです。そうすると、毎日、定員一杯の通いやお泊まりの予定では、緊急時の受け入れが出来ないという事になってしまうので、いつも定員に余裕があるように調整しておかなければなりません。しかし、実際は、要介護度の高い方が多く、一人では自宅で過ごす事が難しいケースがあり、それぞれの利用頻度は高いのです。最近、登録利用者さんに「通い利用日を振り替えてもらいたい」という相談とお願いをする事が増えてきました。みなさん、「いいですよ」と快諾いただけます。だからこそ、『体調が悪くなって…』、『急な仕事で…』等々の緊急時の利用者の受け入れが出来ている現状なのです。登録者さん同士が助け合いをして下さっている状況なんだと感じています。『使いたい放題』では、通いとお泊りの定員が毎日一杯な状況になり、緊急対応の調整が難しくなります。また、自宅で家族と共に過ごす時間を奪ってしまう事になりかねません。だからこそ、要介護度や介護環境等を踏まえ、ご本人、ご家族と相談しながら、サービス内容を“通い”から“訪問対応”に切り替えるなど、いかに自宅で過ごす時間を作れるか等の相談も必要だと感じています。『必要な時に必要な方に必要なサービスを…』という根本を忘れないようにしたいと思います。(Y・O)

生活の質(QOL)維持向上／ナイス・ケア
 要支援のAさん宅へ訪問すると、いつも笑顔でほうきを持って、ヘルパーと一緒に掃除(自立支援のため共に行う家事)をして下さっていました。
 しかし、昨年夏、4年ぶりに脊柱の病気の症状が強くなり、痛みのため、動くことも大変になっていました。一緒に掃除なんてとても無理な状態。介護度も区分変更となり要介護となりました。痛み止めを服用しながら激痛と戦う日々が数ヶ月、Aさんに笑顔はありませんでした。
 そんな中、90歳代のAさんは、一大決心。手術を受けることを決めたのです。これには周囲の誰もが驚きました。しかし、色々なリスクも理解した上で、Aさんの決意は固く、手術を受けられました。ご本人の頑張りがあり主治医もビックリするほどの回復力で、約1ヶ月の入院(リハビリ)を経て、無事自宅に戻られました。「あの時、手術を決断して良かった。今こうやって生きていられるからね」と笑顔で話されます。そんな風に、笑って話しをしてくれるAさん。
 今、私たちは要介護であるAさんに“自立生活支援のための見守りの援助”として『身体介護』で関わらせてもらっています。これは4月の介護保険法改正でも明確化されました。“訪問介護員が代行するのではなく安全を確保しつつ常時介助できる状態で見守りながら行う援助”です。つまり、掃除=生活援助ではなく、何の目的でそのサービスを提供するのかを明確にし、生活援助なのか身体介護なのかが決まります。ヘルパーとしても、日常生活の動作が安定するために、禁忌動作に留意し、手助けをしながら自宅での生活を送れるように、Aさんがいつまでも前向きで笑顔で在宅生活が続けられるように、自立生活支援のための見守りの援助(身体介護)を提供することの大切さをAさんに教えて頂いています。(A・H)



通学路／ナイス・キッズ
 平日利用のキッズ達を、下校する時間帯に合わせて、自宅まで迎えに行きます。学校に迎えに行ってしまうと簡単ですが、近所の子どもと関わる機会も減ってしまうし、重いランドセルを背負って下校でき、体力もつけられる絶好の機会(笑)は大切にしたい。
 さて、この送迎予定を調整するのも、いろいろな事情を加味する必要があります。子ども達の歩くペースや通学団のコースを調べ、送迎順や到着時間を調整。始めのうちは、先生や高学年の子と下校するので、ほぼ予定通り帰ってくる子ども達も、慣れてくるとだんだんと下校時間に差が出てきます。時々、遅れて帰宅することがあると、迎えに行ったスタッフは何かあったのではないかと心配します。時には小学校へ、予定通り下校したか問い合わせることも…。そんな中、子ども達は、ニコッと笑いながら、「違う道を通ってきた〜♪」と…スタッフは冷や冷や(汗)…。
 子ども達に、通学路の意味を具体的に話します。通学路は信号があり、人の目があり、地域のみんなが子ども達の存在に気付きやすいこと、色んな理由があつて少し遠回りでも通学路が決めている。沢山の人が見守っていると伝えられたらと思います。(R・W)



介護プロフェッショナルキャリア段位制度進行状況
 <<段位取得者>> 1~6期生 (12名)
 <<申請中>> 7期生 (1名)
 <<評価中>> 8期生 (4名)



<<編集後記>>昔、私は『話をするときは、相手の顔を見て!』ってよく言われました。が…、今流行りの通信ゲームは会話をしながら出来るものがあります。顔を見なくても、離れていても、話しながらゲームができてしまうなんて…便利なようで寂しいものです。(Y・O)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。
 5月の発送部数 109部